

冥土カフェ

死から生を考える、人生の定期点検

日時 2024年11月11日(月) 13:00~16:00 (受付 12:30)
香典 5,500円 (先着13名限定、中学生以上) *参加費です
場所 耕雲院 山梨県都留市夏狩1884

「10年に一度は死んだほうがいい」

仕事・家事・育児など、忙しい日々を暮らす私たち。今日を大切に生きようと頭でわかっているけど、リアルに考えることは難しくありませんか。冥土カフェは、「死を体感し、これからの生を考える」ワークショップです。今までの人生を振り返り、入棺体験で死を体感し、これからの人生を考えます。今まで見えていた風景が大きく変わるかもしれません。本当に死ぬ前に、生き方を点検してみませんか。



冥土の土産1 生と死を語り合う



「死のイメージは」「死後の世界は?」「どう生きる?」普段、あまり話さないテーマを語り合い、今までの人生の棚卸しをします。忙しい日々から距離を置き、今までの生き方とこれからの考える現世の振り返りになります。



冥土の土産2 死と生の入棺体験



棺に入る体験。棺からの風景、体の感じ方、蓋が閉まる瞬間、お経を聞く体験。怖いというより、意外と安楽な雰囲気。体で感じる死と生の感覚です。僧侶があなたのためにお経を読む時、何を感じるでしょうか?



冥土の土産3 最後の晚餐



開催前日の夕食は、最後の晚餐です。どこで誰と何を食べるか。それを考えて一緒に話すことから、冥土カフェが始まります。当日の自己紹介で産後の晚餐もお聞きしますので写真撮影して下さい。

参加者の声 (30~60代)

- ・今を大切に。悩んだ時は一度立ち止まって、自分も周りのことも考えます。
- ・思っていた以上に、笑いながら参加できてよかったです!
- ・棺は意外と寝心地がよかったです(笑)
- ・棺に入る前の想像と、実際に入った自分の反応が全然違って、面白い。
- ・短い時間でしたが、自分だけでなく主人のことも振り返りました。
- ・夫婦で参加しました。参加するまでの間にも今後のことを話せてよかった。
- ・またしばらくしたら、一度死んでみます。



今回の対話と読経をいただく
耕雲院副住職 河口智賢氏

お申し込み・お問い合わせ→



主催：株式会社斬新社

お問い合わせ info@zanshinsya.com (担当：久保田)